



Daito Chuo Osaka Japan

# 第2660地区 大東中央ロータリークラブ

## \*事務所

〒574-0046  
大東市赤井1-2-10-4F  
TEL : 072-872-6349  
FAX : 072-872-6552  
E-mail : dc-rc@eagle.ocn.ne.jp  
ホームページ http://www.dcrc31477.com/



## \*例会

毎週水曜日 18:30~19:30  
大東市立市民会館  
〒574-0076 大東市曙町4-6  
TEL : 072-871-0001  
FAX : 072-871-0004

■会長:池田文治 ■幹事:古川真照 ■会報委員長:庵谷和宏



RI会長 ジョン・ジャーム

2016~2017年度  
国際ロータリー・テーマ  
人類に奉仕するロータリー

### 四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるかどうか

## 第 941 回 例会 平成 28 年 7 月 27 日

開会点鐘 : 18:30  
 ロータリーソング : 「奉仕の理想」  
 来客紹介 : 親睦活動委員長  
 会長の時間 : 会長  
 諸報告 : 幹事、各委員長、出席報告、ニコニコ箱  
 卓話 : 「2016年規定審議会決定事項について」岡市 勝男 会員  
 閉会点鐘 : 19:30

### 次週のお知らせ

卓話 : 「地震と建物について」長崎 弘芳 会員

### 7 月 13 日の例会の記録

#### 出席報告

会員数 : 28 名  
 出席者数 : 18 名  
 欠席者数 : 5 名  
 出席規定免除者数 : 5 名  
 出席率 : 78.26 %  
 6月29日 修正出席率 : 73.91 %  
 ↓  
 83.33 %

#### ニコニコ箱

- ・新年度活動方針よろしく。長崎会員
- ・各委員長よろしくお願ひします。古川会員
- ・クラブホームページ新しくしました御覧下さい。池田会員
- ・社会奉仕、頑張って報告します。宮城会員
- ・今年こそ皆勤を目指します。森川会員
- ・暑いせいでしょうか出席が良くない様です。峠会員
- ・暑いですね！！北口会員
- ・誠光ビル2Fで茶道教室をします。糸川会員
- ・参議院選挙終わりました。疲れました。北田会員
- ・例会遅刻のお詫び。東坂会員
- ・例会欠席のお詫び。前田会員

当日計 ¥23,000  
 今期累計額 ¥61,000



## 《会長の時間》

会長 池田 文治

本日の会長の時間はロータリーのITの状況と利用方法についてお話しさせていただきます。

本年度の地区の目標の中にもありますように、ガバナー月信のペーパーレス化等、2・3年のうちにロータリーのIT化が急に進んだように思われます。

「ロータリーORG」<https://www.rotary.org/ja>のサイトをご存知でしょうか、昨年度より始まったようですが、クラブのあらゆるデータが登録されています。メンバーの名前や性別・生年月日（任意）それから奉仕事業の詳細、等などです。

（MY ROTARYに登録して活用ください）その中から「プロジェクトの流れ」についてご紹介します。

### プロジェクトの流れ（ライフサイクル）

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/take-action/develop-projects/lifecycle-project>

奉仕プロジェクトを立案・実施し、成果を測定して、それを広く紹介する。プロジェクトには一連の流れ（ライフサイクル）があります。ここでは、プロジェクトの始めから終わりまで、各段階でご利用いただけるリソースをご紹介します。

- ・計画・準備
- ・リソースの収集
- ・プロジェクトの実施
- ・評価と広報

#### ・計画・準備

地域に大きな影響を与え、クラブと地域の人びとが協力しながら実施できるプロジェクトには、入念な計画と管理が欠かせません。

#### ロータリーの資料を利用する

プロジェクトの計画・準備の段階では、「活動する地域社会：効果的なプロジェクトの手引き」をご参照ください。プロジェクトの目標を設定し、現実的なスケジュールを立てるのに最適です。

#### ニーズ調査を実施する

計画・準備の段階で重要なのは、地域社会のニーズ調査です。ニーズを調査することによって、プロジェクトでどのようなリソースが必要かを見極めることができます。この作業には、「地域調査の方法」の資料をご参照ください。

#### 全体的な計画を立てる

プロジェクトの全体的な計画を綿密に立てれば、リソースの管理や起こり得る問題の予測だけでなく、プロジェクトの成果の評価をしっかりと行うことができます。

#### 奉仕プロジェクトの目標を設定する

プロジェクトの目標を設定することは、この段階で大変重要なポイントです。目



標と進捗を記録するには、「ロータリークラブ・セントラル」をご利用ください。

## ・リソースの収集

プロジェクトの計画を立てたら、実施にあたって必要なすべてのリソース（ボランティア、専門家、現物寄贈、資金など）を集めましょう。

### パートナーと協力する

プロジェクトと一緒に実施するパートナーを国内外から見つけたいという場合は、ロータリーの新しいクラウドソーシングのウェブサイト、ロータリーアイデア応援サイト ([ideas.rotary.org](https://ideas.rotary.org)) をご利用ください。

### 資金を確保する

プロジェクトには資金が必要です。資金を確保するためには、補助金に申請したり、寄付推進（ファンドレイジング）の活動を行うほか、上記で紹介したアイデア応援サイトを利用することができます。

- ・寄付推進（ファンドレイジング）を成功させるためのヒント
- ・補助金申請のページから、地区補助金やグローバル補助金を申請する
- ・ロータリー アイデア応援サイト ([ideas.rotary.org](https://ideas.rotary.org)) のウェブサイトを利用して、世界中からボランティアや資金・物資を集める。このページでは、寄付の目標額などを設定することも可能です。

### 現物寄贈を募る

プロジェクトに必要な資金を集めるだけでなく、現物寄贈を募ることも大変重要なポイントです。この際にも、アイデア応援サイト ([ideas.rotary.org](https://ideas.rotary.org)) のウェブサイトをご利用いただければ、プロジェクトに必要な物資を広く募ることができます。

### ボランティアを探す

リソースの中には、実際にプロジェクトの実施に携わるボランティアも含まれません。ローターアクトやインターアクトクラブの会員にボランティアとして参加してもらうよう呼びかけることもご検討ください。

## ・プロジェクトの実施

計画とリソースの準備ができれば、いよいよプロジェクトの実施です。以下のヒントを参考に、プロジェクトをスムーズに進めていきましょう。

### プロジェクトの最新情報を伝える

プロジェクトの実施中は、ロータリーウェブサイト内の奉仕プロジェクトに関するフォーラムグループ（Project Lifecycle Resource Group）を利用して、ボランティア、地域の支援者、クラブの仲間プロジェクトの進展を報告したり、新たに必要になったリソースを募ることができます。

## ・評価と広報

プロジェクトが完了したら、プロジェクトがもたらした成果を測り、成功したこ



とや改善点を振り返ってみましょう。学んだ教訓を次のプロジェクトに役立て、地域の人びとにも参考としてもらうことが大切です。

### 最終報告書を提出する

プロジェクトの仕上げは、最終報告書の提出です。補助金管理ツールから、プロジェクトの最終報告書を提出してください。

### プロジェクトについて広報する

成果をおさめたプロジェクトを広く紹介することはとても重要です。ロータリーショーケースのウェブサイトプロジェクトの内容を掲載すれば、地元メディアに紹介できるほか、ソーシャルメディアでも共有することができ、ロータリー内外の人びとに広報することができます。

以上が「プロジェクトの流れ」です。一部省略しましたが参考にしてみてください。そのほかにも

- ・「ロータリーの友」<https://www.rotary-no-tomo.jp/>
- ・「2660地区」のホームページ<http://www.ri2660.gr.jp/>
- ・「大東中央ロータリークラブ」<http://dcrc31477.com/>

是非、一度ご覧ください。

[幹事報告]

幹事 古川 真照

### 2016～2017年度 臨時理事会 議事録

7月13日例会終了後に、市民会館401号室に於いて19時30分～緊急の理事会が行われました！

出席者：池田、北田、北口、長崎、宮城、森原、森川、青田、古川 計9名

欠席者：荒金、川西、白川 計3名

1. 青少年奉仕委員会の東北の子供達を大阪に招致する会に後援するか？について！  
森川委員長より、昨年も行いました東北の震災でサッカーができない子供達を大阪に招致して、サッカーの大会や、プロのサッカーを観戦するなど復興支援をしている一般社団法人CLUB STORY(クラブストーリー)に対して、当クラブから青少年の事業として行いたいとのこと！

予算 ●観戦チケット7月30日(土)分 60,000円

(ガンバ大阪vsサンフレッチェ広島)

●リーグ戦を行うグラウンド使用料 55,000円

合計 115,000円

☆承認 上程者 森川

※但し協賛なのか後援なのかの確認、領収書を発行頂き決算書を作成する事  
プロジェクト完了後、決算書を作成して報告し提出する事。



## 2. 事務員の退職に伴う、事務員募集について

事務の伊藤さん退職について、今後の対応として公募と面接（人選）について基本的には、会長 幹事、S A Aに一任するとの事で決定しました。面接と選考については役員の方を中心にご協力をお願いします。 ☆承認 上程者 古川  
以上19時50分に終了した

### 「幹事報告」

#### 1. 地区より2016～17年度 卓話銀行のご案内

卓話者が、他の者に卓話を代わって依頼する事も出来ます。その場合地区に登録した卓話者がおりますのでご活用下さいとの事。

謝礼は 一般講師 30,000円 ロータリアン講師 10,000円

必ず1ヶ月以上前に直接講師と連絡を御取りください！その他必ず終了後別紙にて、報告書を提出して下さいとの事、詳細は事務局又は幹事まで！

#### 2. 2016年大東市市制60周年記念事業のご案内

大東市民まつりが、2日間行われます、9月17日(土)前夜祭17時～20時、1万人の盆踊り大会、翌日18日(日)本祭り10時～17時迄が、末広公園にて行われます。とのご案内が届いております！

●) ) 先週の卓話 ( ●

### — 新年度活動方針 —

#### ◇会員組織委員会

委員長 北田 宗男

今期の会員組織委員会と致しましては、ロータリー活動の課題である会員増強と組織充実を課題に活動して参ります。

委員会(部会)としては2つの委員会から構成されており、「会員増強・職業分類・会員選考委員会」は伊泊委員長を筆頭に経験豊富な委員の方々に構成されております。クラブとして15周年に40名を目標に掲げておりましたが、今日まで一進一退の状態でございます。会長方針として純増2名の目標があり、それに向け全会員での勧誘活動及び例会見学の実施を行いたいと考えております。新入会員候補者に例会に参加して頂き、活動を理解して頂きたいと思っております。それゆえに例会内容はもとより、会員同士の価値観が共有できる場作りを、クラブ奉仕委員会活動と重なるところではございますが、作り上げていきたいと考えております。

そして、長崎委員長を筆頭とする「ロータリー情報・規定・研修委員会」では、クラブ内での新人研修や移動例会としての情報集会などを実施し、クラブ内充実を図って参ります。また、昨年度規定審議会で変更になりました規定につきましても全会員に紹介し理解して頂く時間も設けたいと考えております。

一年間力不足ではございますが、ご協力の程よろしくお願い致します。



### ◇社会奉仕委員会

委員長 宮城 康夫

- 1、東北支援
- 2、市民まつりへの参加
  - ・物品販売
- 3、薬害防止活動への参加
- 4、熊本震災支援
- 5、財団補助金を活用した駆け込み寺 ― 子供センターぬっくへの支援
- 6、委員会会議定例化 (合計50万円)

### ◇国際奉仕委員会

委員長 森原 正樹

#### 活動計画

- 本年度の世界大会は6月10日～14日にアメリカのアトランタで開催される為、全会員に参加を促します。
- 台中南門ロータリークラブと大東中央ロータリークラブでの協同事業を日本で行いたいと、台中南門ロータリークラブからお話がありましたので、計画を立てたいと思います。
- 国際奉仕プログラムの一環としてロータリー財団と米山奨学の活動に協力する。

#### ○年次寄付年間目標

- ・ロータリー財団年次寄付 一名あたり \$ 160
- ・ポリオ撲滅寄付 一名あたり \$ 60
- ・米山奨学金寄付 一名あたり30000円
  - 〔 特別寄付25000円 〕
  - 〔 普通寄付5000円 〕

協力の程宜しくお願いします。

### ◇青少年奉仕委員会

委員長 森川 夏枝

- ・大東市子ども会育成連絡協議会の文化的事業
  - 「子ども会フェスティバル（11月）」と「作文コンクール（3月）」に協賛し、大東中央ロータリークラブ賞を贈る。
- ・その他、将来ある子ども達の活動を応援するような事業を行いたいと思います。



## ◇親睦活動委員会

委員長 青田 朝代

\*2016年9月～2017年3月 一泊親睦会  
伊勢神宮参拝他 ― 於 伊勢志摩観光ホテル

2016年12月 クリスマス親睦会

2017年5月 日帰り親睦会 ― 於 \*丸久小山園本社工場見学他

\*伊勢志摩観光ホテルは大変な人気に付き11月は予約とりにくい状況となっておりますので、2016年9月～2017年3月で調整中です。

\*小山園は新茶のシーズンにあたります。

内容については親睦委員会の皆さんのお声を参考にし、会員の皆さまに喜んで参加頂けるよう配慮させていただきます。

## ◇戦略計画委員会

委員長 池田 文治

クラブ戦略計画委員会の本年度の活動について計画を立てる上で資料より戦略計画について説明いたします。

企業や組織体は大なり小なり、それぞれが将来を展望した中期計画、或いは長期計画を作成し、それに基づいた組織運営を行っています。各ロータリークラブで、CLPを検討する際の最初の検討課題として取り上げるべき事項は「クラブの戦略計画」の作成です。今まで各クラブでは継続的な中・長期計画に基づいた運営方針というよりも、一般的には各年度の単年度目標に基づいたクラブ運営が行われてきました。現代のロータリー活動が、単独の活動では効果がなく、お互いに連携して機能的に活動すべきであることが強調され、クラブは自主的に、柔軟に、継続的な広い視野を持って活動することが奨励されています。（資料より引用）

当クラブの戦略計画委員会としましては主に「会員増強」「クラブ運営管理」「奉仕活動委員会」など、既存の委員会との連携によって行う活動だと考えます。たとえば中長期的に会員を増やす計画などですが、それだけでなく、様々な諸問題を取り上げ、各委員会と連携して活動し、今まで単年度制の活動の中で出来なかった将来的な目標の立案等々柔軟に、継続的な活動を立案しクラブの目標としたいと思っております。



ジョン・F・ジャーム RI会長テーマ  
**“Rotary Serving Humanity”**  
 — 人類に奉仕するロータリー —



国際ロータリー 第2660地区 ガバナー **松本 進也**  
 (大阪北RC)

本年度、第2660地区ガバナーを務めさせていただきます大阪北ロータリークラブの松本でございます。

当地区は日本34地区の中でも類まれなる活動実績と永きに亘る伝統を持つ地区です。パストガバナーの皆様が築き上げられましたこの由緒ある地区をより発展させるべく、誠心誠意邁進する覚悟でございますので、何卒お願い申し上げます。

去る1/17-23、サンディエゴ国際協議会に出席いたしました。本会議場であるメインホールに掲げられた看板は従来“Enter to learn, Go forth to serve”「入りて学び、出でて奉仕せよ」でありましたが、3年前より“JOIN LEADERS, EXCHANGE IDEAS, TAKE ACTION”となっております。より自発的そして、活発なロータリー活動が求められていると感じた次第であります。

**【2016-17年度 RI 会長テーマ】**

本年度のRI会長はアメリカ・テネシー州チャタヌーガRCのジョン・F・ジャーム氏です。

エンジニアであるジャーム氏は、空軍に4年間在籍した後、1965年、エンジニアリングのコンサルティング会社に入社。現在は、同社の取締役会長および最高経営責任者（CEO）を務めています。

2016-17年度RI会長テーマは“Rotary Serving Humanity”

— 人類に奉仕するロータリー — であります。

これは、『人類の奉仕』という大きな目標に向け、リーダーシップを持ちうる会員を増やし、ポリオ撲滅をはじめ『世界でよいことをする』ため伝統を継承しよう。」という意味であります。

ロータリーの初期から「人類への奉仕」はロータリーの礎、主な存在理由であり、今、ロータリーは非常に大事なときであり、今後を決定づける歴史的な節目を迎えている。世界の行く末は、私たちの更なる奉仕にかかっており、世界でもっと「よいこと」の推進力となるためにポリオの撲滅を成し遂げ、ロータリーの成功をバネに飛躍する時である。と我々に力強い言葉を発せられました。

ロータリアン一人一人が世界でよいことをする。その積み重ねが大きな機会となり、人類の奉仕となる。とロータリーの存在理由とこれからの目標について、明確に述べておられます。

講義全般で強調されたことが3点あります。

第一に、2016-17年度はロータリー財団100周年の記念すべき年にあたることでした。

これは100年前の1917年、アトランタ国際大会にて、第6代RI会長であるアーチ・C・クランプ氏が、「世界中で善いことをする目的のために基金を設置することは極めて妥当なように思われます」と述べられ、この提案が「ロータリー基金」という名前でスタートしたことに由来します。ロータリー基金は、1928年のミネアポリス国際大会にて「ロータリー財団」として認証され、アーチ・C・クランプ氏は「ロータリー財団の父」と称えられました。

第二に、2018年のポリオ撲滅目標年を控え、ポリオ撲滅についても強い言及がありました。

最後に、会員増強であります。ロータリー精神を有し、リーダーシップを兼ね備えた人材を必要とする。とのことであります。当方も全てを次年度具体的目標に組み入れ、運営の要として参ります。

(ガバナー月信7月号より)